

園評価の結果について、以下の通り報告します。

1 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
保育の計画性	<ul style="list-style-type: none"> ・園の保育理念・保育方針の理解については、常に職員会議等で触れてきたが、全職員保護者への説明も出来るように心掛けたい。 ・保育所保育指針が改定となり、園外研修において説明を受けてきた。研修報告も行い、全職員で改定の趣旨の理解に取り組んだ。 ・保育所保育指針に基づいた保育課程を編成し、園の月案、週案の指導計画を立てることができた。指導計画作成には、月齢や季節を考慮して計画的に作成することができた。 ・環境の構成については、幼児の発達や生活を見直し、季節の変化に応じた環境構成ができた ・保育と計画の評価・反省では、月案と週案ともに反省を記録することで課題を把握し次々に繋げてきた。保育士同士が互いに保育参観をして、研修することも大切にしたい。
保育のあり方 (3歳児未満への対応)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康と安全への配慮では、朝の登園時は家庭からの連絡をもとに視診・触診をして、乳幼児の健康状態を把握することに努めた。また、体調が悪そうな時は検温をして、適切な処置を行い家庭へ連絡をすることができた。 ・乳幼児の健康情報を共有し、アレルギーや熱性痙攣等の既往症について把握した。 ・睡眠が十分とれるような静かな環境を整え、午睡の状態(呼吸・顔色・嘔吐・汗)及びSIDS(乳幼児突然死症候群)のチェックを記録した。 ・乳幼児の話に耳を傾け、言葉にならない思いやサイン、その姿の中にある心の動きを推察して受け止め、信頼関係を築いてきた。 ・泣いたりぐずったりのサインを見逃さず、要求に応じた適切な対応に努めた。 ・とっさの声掛けは禁止後が多くなりがちなので留意していきたい。 ・他のクラスや異年齢児と触れ合う機会がもてるように、早朝と放課後の保育は合同保育を実施してきた。

<p>保育のあり方 (3歳以上児への対応)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の話をよく聞き、言葉にならない思いやサイン、その姿にある心の動きを推察し、基本的欲求が十分満たされるよう配慮した。 ・幼児の話をよく聞き、一人一人に寄り添った保育ができた。 ・幼児をほめたり、励ましたり、めあてをもたせるような言葉かけに努めた。 ・禁止、命令、行動を急がせる言葉は控えていきたい。 ・他のクラスや異年齢児と触れ合う機会がもてるように、早朝と放課後の保育は合同保育を実施してきた。
<p>保育者としての資質や能力 良識・適正</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家としての努力では、保育にたずさわる者として、専門知識や技能を身につけていることに自信がないので、計画的に研修計画を作成して職員一人一人が保育の専門家としての自覚を高めていきたい。 ・良識とマナーは十分にある。園の物を大切に使用し私用に使っていない。 ・朝と帰りの挨拶はしっかりと行い感謝の気持ちを言葉などで表せている。 ・服装、髪型、身だしなみなどに気をつけている。安全性にも配慮している。 ・締め切りのある仕事や提出物の締め切り日、会議や打ち合わせの時間を守っている。会議3分前に着席。 ・組織の一員としての在り方として、子どものことやクラスの出来事などで必要なことは、園長や主任に報告・連絡・相談をしている。 ・上司の指示、命令には責任を持って実行している。
<p>保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修・研究への意欲・態度では、研修会や研究会には自己課題を持って参加し、事前にその内容を認識し自分なりに考えをまとめて参加した。また、研修後は、研修したことを実践に繋げることができた。 ・園の遊具や教材についてどんな使い方をするのか、職員間で話し合い危険防止に努めた。 ・園内の環境に関する専門性を向上させたい。 ・アレルギー、自立の遅れなど、最近多くみられる問題について興味・関心をもっている。 ・幼保小連携の意義について理解を深めたい。 ・子どもの安心・安全に関する危機意識について興味・関心をもっている。 ・自らを高めるための学習としての読書や趣味、ボランティア活動等にも関心を持つことを心がけたい。
<p>保護者への対応・守秘義務</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の発信と受信では、毎月1回クラスだよりの発行をしている。今後は、形式的な内容だけではなく、より多くの子どもの様子を伝えていきたい。 ・個々の子どもの様子は、お迎えの時に公平に時間をとって話している。特に気になる保護者からの情報は、記録に残すようにしている。 ・保護者からのさまざまな要望や意見については、安易にその場で判断せずに、常に園長や主任に報告や相談をしている。 ・職員や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他へ漏らしていない。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秘密情報については園長の許可なく使用，開示，漏洩していない。 ・ 正しい日本語，丁寧な言葉と敬語を用いて話しかけ，相手の話も落ち着いてしっかりと聞くことができた。 ・ 親しくなったからといっても，友達同士のような話し方をしないように心掛けた。 ・ 保護者からの依頼や伝言については，メモをするなどきちんと対応することができた。 ・ 保護者の国籍，思想，宗教により，また，子どもの性差，障害，個性差によって，区別，差別をしていない。 ・ 保護者からのクレームがあった場合は，まず謙虚に話を聴き，園長に連絡・報告・相談をしている。
<p>地域の自然や社会とのかかわりについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の自然・人々とのかかわりでは，散歩の際に地域の人には必ず挨拶をした。また，季節ごとに地域の自然に触れることもできた。 ・ 幼保小の連携としての研修に参加した。学区内の先生方との話し合いの機会を持つことができた。 ・ 学区内の小学校2年生が町探検で訪問してきた。園の様子を説明する機会となった。 ・ 学区内の中学校2年生が3日間職場体験を受け入れた。 ・ 学区内の中学校3年生が家庭科の授業の内容として保育体験をした。手作りのおもちゃを持参して幼児とふれあうことができた。